

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成27年度発生予察技術情報第1号（果樹カメムシ類の越冬状況）について（送付）

このことについて、今後の防除指導の参考にしてください。

### 平成27年度技術情報第1号

1 対象害虫 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

2 対象作物 果樹全般

3 発生地域 県本土

#### 4 情報の内容

本年の果樹カメムシ類の越冬量は平年より多く、特にツヤアオカメムシが多い傾向である。

#### 5 情報の根拠

(1) ツヤアオカメムシ

本年の越冬量は、過去7年間の中で最も多い。平年と比べ越冬密度は約3倍で、越冬地点率は95%とほとんどで確認された（表1）。

(2) チャバネアオカメムシ

本年の越冬量は多く、過去最高の越冬密度の地点（鹿児島市8.7頭/m<sup>2</sup>/地点）もあった。この地点を除いた、越冬密度は平年の約2倍、越冬地点率60%と高かった（表1）。

表1 ツヤアオカメムシとチャバネアオカメムシの越冬密度及び越冬地点率

地域名	ツヤアオカメムシ					チャバネアオカメムシ				
	越冬密度* <sup>1</sup>			越冬地点率		越冬密度* <sup>1</sup>			越冬地点率	
	(頭/100枝/地点)			(越冬虫確認地点/調査地点)		(頭/m <sup>2</sup> /地点)			(越冬虫確認地点/調査地点)	
	H27	平年* <sup>2</sup>	平年比	H27	平年* <sup>2</sup>	H27	平年* <sup>2</sup>	平年比	H27	平年* <sup>2</sup>
	(頭)	(頭)	(倍)	(%)	(%)	(頭)	(頭)	(倍)	(%)	(%)
出水地域* <sup>3</sup>	6.4	3.2	2.0	100	51	0.13	0.11	1.2	40	19
川薩地域* <sup>3</sup>	1.2	0.3	4.2	80	20	0.47	0.35	1.3	60	46
南薩西岸* <sup>3</sup>	5.4	1.5	3.5	100	54	0.40	0.12	3.4	60	28
錦江湾沿岸* <sup>3</sup>	5.2	1.2	4.3	100	49	0.42 * <sup>4</sup>	0.16	2.6	80	31
県本土* <sup>3</sup>	4.6	1.6	2.9	95	45	0.35 * <sup>4</sup>	0.17	2.0	60	30

\*1 ツヤアオカメムシは、イヌマキでの捕獲数、チャバネアオカメムシは、広葉樹林の落葉からの捕獲数。

\*2 ツヤアオカメムシは、平成20～26年の7年間の平均。チャバネアオカメムシは、平成17～26年の10年間の平均。

\*3 出水地域（出水市、阿久根市、長島町（平年の一部年のみ）、川薩地域（薩摩川内市、さつま町）、南薩西岸（いちき串木野市、日置市、南さつま市、枕崎市）、錦江湾沿岸（鹿児島市、霧島市、垂水市、鹿屋市）、県本土は上記以外の市町地点を一部含む

\*4 鹿児島市を除いた数値。

#### 6 防除上注意すべき事項

(1) 越冬虫の園地飛来は、地域やほ場により異なるので今後の発生動向に注意する。移動は、夜温が高くなると活発になる。

(2) 発生状況（予察灯の誘殺状況）は、病害虫防除所のホームページで確認ができる。

（ホームページアドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/kagoshima>）